

# 複合動詞の後項「～きる」と「～つくす」の類義分析

許 永蘭

名古屋大学大学院国際言語文化研究科

maoxucy74@yahoo.co.jp

## 1. はじめに

「お金を使いきった」、「お金を使いつくした」のような複合動詞の後項「～きる」と「～つくす」の類義分析を行なう。

- 1) 「使いきった」と「使いつくした」 意味的に類似
- 2) 「歌いきった」と「歌いつくした」 意味的に異なる
- 3) 「閉じきった」と「\*閉じつくした」 前項動詞の共起制限が異なる

- ・ 共起する前項動詞を示す。
- ・ 意味の相違点を記述する。

## 2. 先行研究

姫野(1999):

表 1

「～きる」				「～つくす」	
	例	前項動詞	意味	例	意味
語彙的 複合動詞	鉄棒を焼ききる	切断の方法や様相を示す	切断		
	難局を乗り切る		終結		
統語的 複合動詞	本を売り切る	意志性のある継続動詞	完遂	財産を売りつくす	
	力を出し切る				
	手足が冷え切る	変化の程度を持ち、結果の状態が残る瞬間動詞	極度		
	相手を舐めきる				

「～きる」が 完遂 を意味する場合、「～つくす」と類似していると指摘している。しかし、類義分析を行っていない。「～つくす」の前項動詞についても触れていない。

## 3. 分析

分析対象：タ形の終止形「～きった。」と「～つくした。」に限定する。

使用データ： ・『茶漉』日本語用例・コロケーション抽出システム<sup>1</sup>

- ・ インタネットのホームページを Google の検索エンジンを用いて検索したもの

3.1 「～かった。」と「～つくした。」と共起する前項動詞

表2 コーパスのサイズ

総形態素数：310,462,217				
コーパス	講談社新書など <sup>2</sup>	寅さん <sup>3</sup>	青空文庫 <sup>4</sup>	毎日新聞1991-1999 <sup>5</sup>
形態素数	2,934,812	729,065	8,370,720	298,427,620

- a 「～かった。」は、他動詞、自動詞とも共起する。一方、「～つくした。」は自動詞と共起する例は「泣く」しかなかった。
- b 「～かった。」と「～つくした。」は、共に受身とほとんど共起しない。(ただし、「～つくされた」という形は多数出現する。)
- c 「～かった。」に比べ「～つくした。」はサ変動詞と共起する例が多い。(「サ変動詞+かった」は連体修飾形で用いられることが多い)

表3 「～かった。」と「～つくした。」と共起する前項動詞

「～かった。」								「～つくした。」									
他動詞				自動詞				受身	他動詞				自動詞		受身		
1	t	1	t	2	t	2	t		1	t	1	t	2	2	t		t
取る	3.58	守る	17.40	なる	2.99	言う	30.94		埋める	6.557	なめる	3.00	泣く	1.00	破壊される	1.73	
生かす	3.14	投げる	7.53	冷える	2.00	逃げる	11.08		焼く	3.162	使う	1.73			議論される	1.00	
売る	2.98	演じる	4.99	成る	1.00	勝つ	5.17		売る	1.999	撃つ	1.41					
出す	1.65	抑える	3.98	生きる	0.99	云う	4.35		出す	1.727	食う	1.41					
撮る	1.41	歌う	2.45	伸びる	0.97	いう	3.79		取る	1.414	覆う	1.41					
つぶす	1.00	防ぐ	2.00			走る	3.45		燃やす	1.414	やる	1.41					
まとめる	0.95	描く	1.99			泳ぐ	2.64		撮る	1.000	食べる	1.41					
とる	0.99	攻める	1.98			上る	1.99		知る	0.999	調べる	1.41					
		嘔む	1.41			登る	1.41				考える	1.41					
		書く	1.39			滑る	1.41				おおう	1.00					
		ふむ	1.00			暮れる	1.41				さらう	1.00					
		裁く	1.00			疲れる	1.40				奪う	1.00					
		さばく	1.00			しらける	1.00				描く	1.00					
		すう	1.00			ひたる	1.00				語る	1.00					
		ふる	1.00			おびえる	1.00				サ変動詞	3.08					
		閉じる	1.00			苦る	1.00				破壊	2.00					
		絞る	1.00			渡る	1.00				堪能	1.00					
		突く	1.00			委える	0.98				傾倒	1.00					
		持つ	0.99			飛ぶ	1.00				取材	1.00					
		任せる	0.99			歩く	1.00				消耗	1.00					
		食べる	0.97			頼る	1.00				燃焼	1.00					
						踊る	0.99				表現	1.00					
						慣れる	0.99				実験	1.00					
											利用	1.00					
											アレンジ	0.89					

1: 自動詞対応あり                      2: 他動詞対応あり  
 1: 自動詞対応なし                    2: 他動詞対応なし

3.2 「～かった。」とは共起するが、「～つくした。」とは共起しにくい前項動詞

「～つくした。」と共起する前項動詞のほとんどは、完遂を表す「～かった。」とも共起する。これらの前項動詞には、自動詞も他動詞も含まれるが、空間、時間、量、質の進展性が想定できるような動詞に限られると思われる。

- 4) 日本全国を走りつくした。    空間的進展性
- 5) 夜が更けるまでさめざめと泣きつくした。    時間的進展性

6) 力を出しつくした。 量的進展性

7) 素材の持ち味を生かしつくした。 質的進展性

一方、動作の終点があり進展性のない動詞とは共起しない。

8) \*ドアを閉じつくした。

状態を表す動詞とも共起しない。

\*持ちつくした、\*防ぎつくした、\*任せつくした

表4 「~きった。」と共起するが、「~つくした。」と共起しないか、共起した数が少なかった前項動詞

意味分類	「~つくしたとの共起	他動詞 1	意味分類	「~つくしたとの共起	他動詞 1	意味分類	「~つくしたとの共起	自動詞 2	意味分類	「~つくしたとの共起	自動詞 2
完遂		取る	完遂		守る	極度		伸びる	完遂		言う
完遂		生かす	完遂		投げる	完遂		なる	終結		
完遂		売る	完遂		演じる	極度		冷える			
完遂		出す	完遂		抑える	完遂		生きる	極度	x	暮れる
完遂		撮る	完遂		歌う	完遂		成る	極度		疲れる
完遂		つぶす	完遂	x	防ぐ				極度	x	しらける
完遂		まとめる	完遂		描く				極度		萎える
完遂		とる	完遂		攻める				完遂		逃げる
			切断		嘔む				完遂		勝つ
			完遂		書く				完遂		走る
			切断	x					完遂		泳ぐ
			終結	x	ふむ				完遂		上る
			切断	x	裁く				完遂		登る
			切断	x	さばく				完遂		滑る
			完遂		すつ				極度		ひたる
			切断	x					極度	x	おびえる
			終結	x	ふる				極度	x	苦る
			完遂	x	閉じる				完遂		渡る
			完遂		絞る				完遂		飛ぶ
			切断	x	突く				完遂		歩く
			完遂	x	持つ				極度		頼る
			完遂	x	任せる				完遂		踊る
			完遂		食べる				極度		慣れる

1: 自動詞対応あり

2: 他動詞対応あり

: 共起した数が少ない

1: 自動詞対応なし

2: 他動詞対応なし

x: 共起しない

意味分類は、姫野1999に従う

### 3.3 「~つくした。」とは共起するが、「~きった。」とは共起しにくい前項動詞

「取材しきった。」「議論されきった。」は出現しなかった。これらの例は達成点を想定できない。(ただし、「取材しきれなかった」とは言える。)

### 3.4 「~きった。」「~つくした。」共に共起可能な前項動詞(<完遂>の場合)

9) \*炎は全山を焼ききった。

10) 炎は全山を焼きつくした。

「~切る」は行為者の意図的な行為でなければならない。「~尽くす」は意図的な行為でなくてもよい。

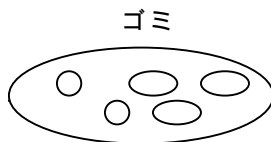
11) ゴミを焼ききった。 意図的行為

12) \*ゴミを焼きつくした。

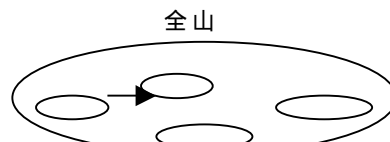
ゴミはまとめて焼くのが普通であり、一つずつ順に焼いていくといったイメージはない。すなわち行為の進展性が考えられにくい。

「ゴミを焼ききった。」

「炎は全山を焼きつくした。」



炎は時間的に継続するだけ



炎が進展して行く

#### 4. 終わりに

- ・「～きった。」は<完遂>の意味を表す際に「～つくした。」と意味が類似する。
- ・「～きった。」は、達成点を想定できない前項動詞とは共起しない。「～つくした」は進展性が想定できない前項動詞とは共起しない。
- ・「～きった。」は対象を全体として捉え、まるごと完遂させることを表し、「～つくした。」は対象を部分部分に分けて捉え、行為を進展させながら完遂させることを表す。

#### 参考文献

姫野昌子(1999) 『複合動詞の構造と意味用法』 ひつじ書房 pp.173-195

森田良行(1989) 『基礎日本語辞典』 角川書店 pp.380-381

#### 注

- 1 「日本語学習辞書編纂に向けた電子化コーパス利用によるコロケーション研究」(代表者：名古屋大学国際言語文化研究科日本語文化専攻教授 大曾美恵子)というタイトルの科学研究費補助金によるプロジェクトの一環として開発されたものである。
- 2 CASTEL/J プロジェクトで作成されたコーパス。講談社ブルーバックス、白書、学校教科書などが含まれている。
- 3 CASTEL/J プロジェクトで作成されたコーパス。松竹映画『男はつらいよ』シリーズのシナリオ集。
- 4 「青空文庫」(<http://www.aozora.co.jp>)
- 5 毎日新聞 1991～1999年の全記事を一年ごとにファイルにまとめたもの。